

二月三日第八回連絡懇談會

松岡提案ノ對獨伊蘇交涉案要綱ノ件

一出席者

總理、平沼、陸海外三相、陸海軍務局長、富田書記官長

三松岡提案ノ對獨伊「ソ」

交渉案要綱ニ就テ審議シ若干ノ修文ト之

ニ對スル觀念ノ統一ヲ圖リタル上要綱ヲ決定ス

渡歐ノ時機ハ三月上旬出發四月中旬歸朝ト概定ス

三冒頭松岡發言

「リツベン」及「チアノ」ヨリ夙ニ渡歐ノ勸告アリ昨年暮

ニハ是非來ル様要望シ來レリ

本案件ハ政戰兩略一致ノ下ニ進ム必要アルヲ以テ提案シタ

ル次第ナリ渡歐行動豫定ハ「ベルリン」「ローマ」ニ各二、三日「ロス」ニ一週間位ト考ヘアリ

陸軍ヨリ本案ニ對スル意見アリタルモ海軍ヨリハ返事ナキヲ以テ同意ト認メテ差支ナキヤ

陸海軍 行クコトニ異存ナシ 其時機ハ對佛印、泰基礎交渉成リタル後ヲ可トス

總長

大島ニ瀬踏ミセシメタル後ヲ可トス

外相

獨伊カ来イト云フ眞意ハ相當疑問ナリ即チ

(1) 獨伊自分本位ノモノナリヤ

(2) 宣傳ノ爲ナリヤ

(3) 日本ノ眞意ヲ直接問カントスルニアルヤ

等其眞意ハ疑問ナリ

議會開會中ナルモ外務ハ總理ニ御願ヒシテ行キ度 大島テハ瀬踏ミハ出来ス 佐カ行ツタラ相當ノ事ヲ言フト思フ 尙議會ニ於テ英米ヲ攻撃シタコトハ一見行過キノ様ニ思フカ自分ノ歐洲行キノ豫備行爲ナリ民間ニ於テハ英米ヲ刺戟スルトテ非難シテ居ルカ強イ意志ヲ以テ進ム必要アリト思フ

行ク時機ハ獨ノ對英攻撃ノ前ヲ可トス

佛印、泰ノ見送シツキ次第即チ二月二十日頃調印ヲ終リ三月初メ出發、四月中旬ニ歸朝スル豫定ナリ

以上ヲ以テ渡歐ニ異存ナク其時機モ亦差支ナキコトニ決定ス

海相 議員ハ如何ニスルヤ

外相 澤山進レテ行キ度 貴衆兩院二名、財界言論界數名、大政

調會若干名ト豫定シアリ「オットー」モ多キヲ希望ス

海相 海軍トシテハ一名、「クリーエル」程度ヲ可トスヘシ

陸軍 先方ニ人モアリ研究スヘシ ソンナニ多クスル必要ナカル

ヘシ

四次テ各項ノ研究ニ入ル

二ノ(一)ニ就テ

外相 一年ニ石油百万屯取レルニ拘ラス現況ハ十万屯モ難シイ狀

態ナリ

海相 左ノ二案ヲ提案ス

第一案

最初五年間一五〇万屯取得次テ次ノ五年間一五〇万屯買收ス

第二案

日「ソ」國交順調ナラハ獨ノ保障ニ依リ十年間ニ三〇〇万

屯買收ス

外相 將來研究スヘシ

(一) (二)ニ就テハ意見ナシ

(三)ニ就テ(漁業問題)

外相 本件ハ(一)ニアル如ク北樺太ヲ買フ案ナルヲ以テ自然解決ス

ヘシ 別ニ研究ノ要ナシ

(四)ニ就テ(輸送力増強ノ件)

陸海軍 「シベリヤ」鐵道ノ輸送力ヲ過度ニ大ナラシムルハ國防

上關係大ナルヲ以テ注意ヲ要ス

外相 現在ノ輸送力一年ニ六〇乃至七〇万屯ニ過キス之テハ困難
本案ハ此ノ數量ヲ若干増大シ様トスルモノニシテ大ナル數
量ニアラス

三ニ就テ

陸軍 民族獨立ノ件ハ朝鮮ノコトモアルカテ慎重ナルヲ要ス

外相 百年ノ大計ヲ考ヘタルモノナリ朝鮮ノ件ハ分ツテ居ル
四ニ就テ

外相 本件モ百年ノ大計ヲ考ヘタモノテアルカ「リツベン」モ之
ヲ考ヘテ居ルノテ之ニ調子ヲ合ハセ様ト云フ氣持ナリ

五ニ就テ

陸海軍 米ノ參戰ヲ不可能ナラシムル行動ニ付獨ト瞭解ヲ速ケル

ト云フコトハ極メテ慎重ナルヲ要ス 本件ニ關シ輕々ニ言
質ヲトラレテハ困ル

外相 兵力行使ノコトニ就テハ一人テ決メル様ナコトハ絕對ニシ
ナイ

六ニ就テ

外相 獨ノ「ソ」牽制ニ就テハ將來ノコトヲ考ヘ永久的ニ牽制ヲ
實行スルコトニ就キ獨ト話合スル必要アリ

海相 外相單獨テ協定ヲ造ラヌ様充分慎重ニセラレ度
外相 先般「スターマー」來朝ノ際「ソ」ヲ日本ト挾撃スルヤ

同盟ニ引入ルルヤニ關シ「リッペン」ニ研究ヲ要望シタト
コロ「リッペン」「オットー」共ニ即座ニ同盟ハ不可決裂
ヲ要スト答ヘタ次第ナリ

付テハ本件ニ關シ獨ト慎重ニ照合ヲ必要アリト思フ

八ニ就テ

本件ハ論議ニ最モ多ク時間ヲ要シ結局之ヲ削除シ「支那全面和平
ノ促進ニ就テハ尙獨ト懸談ヲ遂ク」ト修文ス
議論ノ要點左ノ如シ

外相 支那戦線ヲ縮少シ南方ニ根ヲ下ス必要アリ
換言スレハ南方ニ根ヲ下サナケレハ支那事變ハ解決セス根ヲ下ス爲ニハ國
力ヲ要ス之カ爲支那戦線ハ縮少スルヲ可トス

總長 右外相ノ意見ニ對シ總長ハ長時間外相ト論議シ戦線ヲ過度

ニ縮少セハ事變解決不可能ナル旨強調ス

閣局長 外相ノ戦線縮少南方進出案ニハ絕對反對ナリ

海相 外相案ハ支那事變ニ深入リセス前ノ考ヘテ今トナツテハ南
方ニハ幾ムカ兵ヲ用ヒスシテヤル必要アリ

換言スレハ南方ニ出ルトスルナラハ支那事變ヲヤリ直シタ
ル後テナケレハナラヌト云フコトニナル

武備局長 松岡案ニヨレハ事變ハ却ツテ長期トナル

外相 然ラハ支那事變ニ對シテハ經費ヲ成ルヘク少クスル乎ハナ
イカ

海軍 海軍ノ第一級潛艇ハ一年ニ六千万圓程度他ハ全部貯藏ナリ

陸軍ノ消耗ハ十七、八億見當他ハ貯蓄ナリ

右ニ依リ外相ハ戦線ノ縮少ハ必スシモ經費ノ縮少トナラサル旨瞭

解ス

以上ヲ以テ戦線縮少案ハ否決セラレ修文スルコトトナル

本件議中從來懸談會席上殆ト發言スルコトナキ總理モ發言シ戦

線縮少反對ナル旨述ヘタリ

九ニ就テ

外相 自分ハ勝手ニ條約ヲ改定ル様ナコトハセヌ

極秘

對獨伊蘇交涉案要綱

(昭和^二六^三)

決定

一、蘇聯ヲシテ所謂「リッペントロップ」腹案ヲ受諾セ

シメ右ニ依リ同國ヲシテ英國打到ニツキ日獨

伊ノ政策ニ同調セシムルト共ニ日、蘇國交ノ調

整ヲ期ス

二、日、蘇國交調整條件ハ大体左記ニ據ル

(一)獨逸ノ仲介ニ依リ北樺太ヲ賣却セシム

若シ蘇聯カ右ニ不同意ノ際ハ北樺太利